**第4学年2組 道徳学習指導案**

**１　主題名**　心と心が通じ合う　２－（２）　思いやり・親切

**２　資料名**　「心と心のあく手」

**３　指導計画**　１時間（本時）

**４　本時の学習指導**

1. ねらい

思いやりとは相手の気持ちを考えることであるということに気付き、相手の立場を理解して、進んで親切にしようとする心情を育てる。

（２）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| １　自分が親切にされた経験を振り返り、思いやりとはどういうものか確認する。２　資料「心と心のあく手」の範読を聞く。３　資料「心と心のあく手」を読み、ぼくの変化を読み取る。場面①おばあさんに声をかけるが断られてしまった　　　ぼく場面②今度は一人で歩くおばあさんを見守ったぼく４　ぼくがとった行動は、本当に思いやりのある行動だったのか話し合う。５　本時のまとめ | ○「思いやり」とはなんだろう。誰かに思いやりがあることをしてもらったことはありますか。・怪我をしたとき友だちが保健室に連れて行ってくれた。・忘れ物をしたとき友だちが鉛筆を貸してくれた。○おばあさんに声をかけたのに断られてしまったぼくはどのような気持ちだったでしょうか。・せっかく声をかけたのに残念だな。・とても大変そうなのに一人で本当に大丈夫なのかな。・どうして一人で歩こうとしているのかな。○自分だったら、困っているおばあさんを見たときにどうしますか。・大丈夫ですかと声をかける。・荷物を持ってあげる。○今度はおばあさんに声をかけず見守ったのはどうしてだろう。・おばあさんは歩く練習をしていたと分かったから。・手を貸さない方がおばあさんのためになると思ったから。○ぼくがおばあさんに手を貸さなかったのは、本当に思いやりのある行動といえると思いますか。・困っているおばあさんを助けないことは思いやりがあるとはいえない。・おばあさんが歩く練習をしたいと思っているのだから見守ることがいいことだ。・おばあさんの気持ちを考えた行動なので、思いやりがあるといえる。○思いやりとはなんだろう。・思いやりとは、実際に手を貸すことだけではない。・相手が本当はどうしたいのか、どうしたら相手のためになるのかなど、相手の気持ちを考えることも思いやりである。 | 〇児童が自分の経験を発表しやすいよう、まずは教師が誰かに親切にしてもらった経験を紹介する。○児童が内容を理解できるよう、ゆっくり読む。○資料の内容を捉えやすいように、場面絵を黒板に貼り、児童に質問しながら場面を整理していく。〇勇気を出しておばあさんを手伝おうとしたぼくの思いやりをもつ心情に共感し、それを断られてしまった残念な気持ちに気付くことができるようにする。○ぼくと似たような自分の経験を振り返り、このようなとき自分だったらどうするか考えられるようにする。○ぼくがおばあさんに声をかけなかった理由を質問することで、手を貸すのではなく見守ることにしたぼくの心情の変化に気付くことができるようにする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○ワークシートを配布し、自分の考えを記入してもらい、自分の考えを皆の前で発表してもらう。○友だちの意見を聞くことで、自分の考えとは違う思いやりの形があることに気付き、本当の思いやりとは何かを葛藤しながら考えることができるようにする。○児童から出た意見をまとめ、相手の気持ちを考え大切にするということも思いやりであることに気付くことができるようにする。○「友だちの宿題をやってあげる」のような具体例を出し、あえて手を貸さないことも思いやりであることに気付くことができるようにする。○授業の最初に考えた思いやりと、資料を読んだ後に考えた思いやりを比較し、児童が本当の思いやりについて気付くことができるようにする。○ワークシートに授業を通して気付いたことや考えたことを記入してもらい、自分の言葉で本時のまとめができるようにする。○教師自身のエピソードを話し、相手の気持ちを考えた思いやりについて気付き、自分も実践していこうという気持ちにつなげられるようにする。 | ６´４´15´15´５´ |

**５　備考**　在籍児童数　35名

**６　板書計画**

「思いやり」って何だろう？

　　　・保健室に連れて行ってくれた。

　　　・えんぴつをかしてくれた。

　　　　　　　　　　　✋　行動

　「心と心のあく手」

　　◎おばあさんに声をかけたぼく

　　　　・残念だな。

　　　　・本当に大丈夫かな。

　　◎おばあさんを見守ったぼく

　　　　・おばあさんは歩く練習をしているから。

　　　　・おばあさんのため。

　　☆ぼくの行動は本当に思いやり？

　　　　　　　・困っているおばあさんを助けないのは思いやりがない。

　　　　　　　・おばあさんは本当は歩く練習をしたい。

・おばあさんの気持ちを考えた。

　　　♡気持ち

思いやり

思いやり

とはいえない

場面絵

　①

場面絵

②